

スポット型エージェントのタスクスケジューラ登録手順

2018年12月17日

お客様名	キーウェアソリューションズ株式会社様
------	--------------------

No.	作業項目	作業内容	メモ
1	LV-SpotInventoryAGTフォルダ内 config.iniを編集	PSID=0 ※固定値 Server=[MGRのIPアドレス] Port=443 ※固定値 SSL=1 ※固定値 Username=[MGRインストール時に設定した接続ID] Password=[同上パスワード] InputCode=1 ※固定値	インベントリーデータのアップロード先を登録します。
2	LV-SpotInventoryAGTフォルダ内 Option.iniを編集	Acrobat=1 ※固定値 Oracle=1 ※固定値 MSSQL=1 ※固定値 InputCode=1 ※固定値 Code=[資産管理番号を入力]	当該PCの資産管理番号を登録します。
3	LV_InventoryScriptフォルダをMGRに配置	インベントリー情報出力スクリプトを管理対象PC内の任意の場所に保管	
エージェント実行をタスクスケジューラ（基本タスク）へ登録			
4	Windowsタスクスケジューラを起動	コントロールパネル→管理ツール→タスクスケジューラ	
5	右ペイン[基本タスクの作成]をクリック	「基本タスクの作成」ウィザードが起動	
6	基本タスクの作成	”名前”に任意のタスク名を入力し、[次へ]をクリック 例：LV_TASK	”説明”は必要に応じて任意入力。

No.	作業項目	作業内容	メモ
7	トリガー	エージェントを実行するタイミングを選択し、 [次へ]をクリック	1時間毎に実行する場合は”毎日”を選択します。 以下の手順は1時間間隔での実行を設定する手順です。
8	トリガー→毎日	開始する日時を設定し、[次へ]をクリック	間隔は「1日」（初期値）とします。
9	操作	”プログラムの開始”を選択し、[次へ]をクリック	
10	操作→プログラムの開始	[参照]ボタンをクリックし、手順3で配置した LV_InventoryScriptフォルダ内の 「LV_InventoryAGT.exe」を選択	
11	操作→プログラムの開始	”引数の追加（オプション）”に「silent」を入力し、 [次へ]をクリック	silentオプションが無い場合、エージェント実行時に ウィザードが表示されます。
12	完了	[完了]をクリック	
1時間毎の実行を登録			
13	タスクのプロパティを開く	手順6で作成した名前を右クリックし、[プロパティ] を選択	
14	トリガーの編集ウィンドウを開く	「トリガー」タブを選択し、[編集]日ボタンをクリック	
15	繰り返し間隔を設定	”繰り返し間隔”にチェックを入れ、[OK]をクリック	デフォルト値が”1時間”となっています。 別の時間が選択されている場合”1時間”を選択してください。

No.	作業項目	作業内容	メモ
16	プロパティを閉じる	[OK]をクリック	